

令和6年度 京都市ひきこもり支援事業補助金事業実績

スタートアップ部門

藤袴地域交流事業

(特定非営利活動法人 恒河沙母親の会)

実施日

令和6年4月1日～令和7年3月31日
毎週木・金 10～15時

会場

恒河沙母親の会(上京区)

事業実績

事務所に藤袴や野菜の植木を置いて栽培し、また育てた藤袴から匂い袋を作成することなどを通して、ひきこもりの当事者やその御家族、地域の人々が交流できるきっかけづくりを行った。

誰でも気軽に立ち寄れる環境として整備したことで、栽培に関する会話や福祉の悩み事など、参加者同士の交流が生まれ、孤独感・閉塞感の解消につながった。



日本文化の「茶の湯」体験を通した居場所づくり

(一般社団法人 ムーンライト)

実施日

令和6年11月16日、
令和7年2月15日

会場

karasuma BASE
(中京区)

事業実績

茶師を講師に迎え、「茶の湯」体験講座を通して、心身ともにリラックスした状態を作り、本音で話せる居場所づくりを行うとともに、ひきこもりの当事者やその御家族、支援者同士のコミュニティの形成を目的として2回のセミナーを開催。お茶の話を聴きながら、茶香服と呼ばれる利き茶を体験した。

終始和やかな雰囲気の中、参加者同士が自由に語り合える居場所となった。



スタートアップ部門

「発達障害とひきこもり支援」シンポジウム ～ライフプランの視点から～

(特定非営利活動法人 若者と家族のライフプランを考える会)

実施日

令和6年9月28日

会場

ひと・まち交流館京都
(下京区)

事業実績

ファイナンシャルプランナー藪内美樹氏による、「ひきこもり当事者とその家族が安心して生きていくために～変化の時代に備える～」をテーマとした講演、澤月子氏(自閉症スペクトラム支援士)の進行による支援団体活動紹介・交流を目的としたオープンディスカッションによる2部構成のシンポジウムを開催した。ひきこもりの当事者やその御家族、支援者を含む70名が参加され、「支えてくれる人が人々がたくさんいることを心強く思った」、「市内に多様な支援団体があることを初めて知った」などの感想をいただいた。

また、多くの方に情報を届けるために、「LPW文化祭」の会場において、シンポジウムのダイジェスト動画を当日進行を務められた澤月子氏に解説いただきながら上映する「シンポジウムを今後につなげる総括」を実施した。



鬼あげひまわり

(鬼あげこども食堂)

実施日

令和5年5月29日～令和7年3月31日

会場

鬼あげ+ (右京区)

事業実績

週に1～2度、様々な状況にあるこどもたちを対象として、他者との関わりを徐々に持てるような、自由に過ごせる居場所の提供を行った。

利用者には、ゲームやポップコーン作り、簡単な工作などを楽しんでもらいながら、人と話す機会を提供。

事業を通じて、他者との自然な交流ができるようになるなど、コミュニケーションの幅を広げることができた。



ステップアップ学習会 (OCD school)

実施日

令和6年5月23日～令和7年3月31日
毎週木曜日 18時～20時

会場

中京区壬生下溝町26-32

事業実績

1年間を通して、人付き合いが苦手、学習への不安を感じている、などの悩みを持つ小中学生を対象とした学習支援を実施。落ち着いた雰囲気のある町屋を会場として、現役の教員や大学生による丁寧な学習サポートを実施し、子どもたちが学習する習慣を定着させることができた。また、保護者の困りごとや悩みの相談にも応じることで、親子関係の改善にもつなげることができた。



～共に学ぶ楽しさを見つけよう～



<http://www.ocdschool.com>

ジョブケアゆったり支援 (株式会社JAPAN INNOVATION)

実施日

令和6年7月1日～令和7年3月31日

会場

京都市伏見区醍醐高畑町30-3
アッシュビル1階

事業実績

ひきこもりの当事者やその御家族を対象に、ITスキルトレーニングと籐編みワークショップを実施し、現地参加する方のほか、外出が難しい方については、分身ロボットOrihimeを操作することにより、遠隔から御参加いただいた。

ITスキルトレーニングでは、初心者の方でも無理なく学べるように基礎から丁寧に指導し、実践的なスキル習得をサポートした。

籐編みワークショップでは、ものづくりを通じて他者と交流できる場を提供し、当事者やその御家族同士の交流を図る機会を設けた。



IT支援



Orihimeによる外出

